

近代美術館 所蔵作品真贋事案について

令和7年3月25日、所蔵作品真贋事案について次のとおり公表した。

1 近代美術館の見解

徳島県立近代美術館がこれまでジャン・メッツァンジェ作「自転車乗り」としていた所蔵作品は、ヴォルフガング・ベルトラッキによる贋作である。

2 根拠

(1) ベルリン州警察による情報提供

① 作品の来歴

来歴上の第一所有者は、ヴォルフガング・ベルトラッキの共犯者として有罪判決を受けたオットー・シュルテ・ケリングハウスである。

② 鑑定者（ボゼナ・ニキエル）の証言

捜査の段階で贋作であると証言している。

(2) カタログ・レゾネ編集者（作家の著作権管理団体）の判断

事件前の鑑定書は誤りであり、贋作であると判断している。

(3) 本人（ヴォルフガング・ベルトラッキ）の供述等

自叙伝への掲載、マスコミ取材に対する「自身の作品」との証言など。

3 今後の対応

(1) 購入先との交渉

弁護士と相談しながら、購入先との交渉を行う。

(2) 作品の公開

県民のみなさまへ説明する観点から、公開を検討している。

(3) 科学調査

専門機関によるデータ分析の内容やスケジュールについて調整中。

今後の真贋判定等の美術業界に資する資料とする。